

當流算梯解義

減加法

廿四

八

商流算 抄卷廿四

妻静云保身録

加法

序

一兩載云云云云

云云云云云云

三六九廿九百目

一牛馬の古の分せて池の底の牛の骨
十部可なり可なり可なり可なり可なり
此池周の里数と何程を

三十七里中一里可

一馬より儀の難敷を有るは各五斗入
三儀乃徳目大五斗と十斗目小三斗

三斗目替強五斗十八斗目なりと此

法乃也量後付と

三斗五拾八斗目

一今九斗の法とて大遊帯を割衣と

硝石指と書り書り後目後書り書り目

木炭と書り書り後目とて大書り乃書り

何れも計るべき

三拾五冊目

五
一兄弟四人の歳と今ととの父の年齢

二適令とては嫡子年十五男、女男

三其末子四女あり親のこゝと伝承と

三十五冊目

六
一明治六年一月山城國の官員と事あり

二京都に於て市中にて今とて男の部

三男の部十八人女十部方七部十部部中

四男の部方部八部方七人女九方百部

五とて人部今とては部方部

明治十一年の明治十一年

五經の内の易詩經並冊を百部十枚書

經並冊を八十枚易經並冊を十枚儀禮詩

四冊を十部十枚春秋並冊を十枚を

十部十枚を總計一十部

二百五十部

世界中陸地の廣を計る西細亞

半島を以て歐亞半島の面積を

亞非里加半島を以て亞米利加半島

半島を以て澳大利半島を以て

全地球の面積を以て

全地球の面積を以て

一 明治五年 一月 日より 證書類 始

とあるの印紙各種も各々枚の定價を問ふ

淡黒色、
赤色、
緑色、
各色枚宛の價金を問ふ

赤色、
黄色、
青色、
何れも

赤色、
黄色、
青色、
何れも

各色枚宛の價金を問ふ

云々園九枚

十
一 市人系都より奈良の行きの

其里村と草むらに 京橋伏水迄

伏水小倉と三浦小倉より新田迄

新田より長世迄

長世より木津迄

木津より和合集里

云々十

一九經の文字數

毛詩 三万九千七百十四字

尚書 三万五千七百字

周禮 四万五千八百六十六字

禮記 九万九千九百一十字

周易 三万四千七百七十字

春秋左傳 十九万六千八百四十五字

孝經 千九百〇二文字

論語 三万五千七百七十字

孟子 三万四千五百八十五字

此經の文字數何と問

三万四千五百八十五字

減法

一

京都より東京までの距離は同様に

東海道は百七十里、北海道は百

六十里、東海道は百七十里、北海道は

百六十里、東海道は百七十里、北海道は

百六十里

如

一 白相合の酒を飲む所は七所八所の
うらひの五回田の酒を飲む所は七所八所の
酒を飲む所は七所八所の

三十九年正月十八日

一 白相合の酒を飲む所は七所八所の

一 白相合の酒を飲む所は七所八所の

三十九年

甲

一 東岸の板を渡る人は田の酒を飲む所は七所八所の
里内の船を渡る人は田の酒を飲む所は七所八所の
流車人が舟に乗りて酒を飲む所は七所八所の

八里ノミヤ然ルモ古本ありて其田ノ

三十七九里

女

一ノ條ノ日書ヨリモヨク傍ニ入ルル紙枚也計

冊草八枚有ルモ自天竺子ニ冊十七枚

海法由林ノ一ノ條ノ中庸ノ冊

十枚ト歸ルテ其ノ残りノ冊子冊ノ

丁數ハヤヤ

三ノ部ノ一ノ枚

女

一ノ父ノ許待合ニキ方ニある日ノ

キヨクノ末女ノ一ノ條ノ中女ノ

末男ノ一ノ條ノ日書ノ一ノ條ノ

漢ノ一ノ條ノ日書ノ一ノ條ノ

魯・ニ・ノ・百圓

七

一世界中の人民總計九億七千万

人、其の大部分の國、澳大利、南米、

と、人、收、先、五、細、無、情、也、

多、一、億、五、千、萬、方、歐、羅、巴、一、億、七、千、

五、非、里、一、億、七、千、萬、方、三、加、里、

百、方、五、千、萬、方、澳、大、利、

一、三、千、萬、方、

六 ワーテンロウ

一、瓦、得、路、の、戦、一、各、國、亦、此、の、数、に、計、也、

一、編、一、十、万、の、人、を、一、日、に、一、千、人、を、

一、多、人、数、を、一、日、に、一、千、人、を、一、日、に、

魯、一、十、万、八、千、人、和、議、此、利、時、一、八、五、八、一、諾、

のいふ所より入英國の事方々入世の事
佛國討死の人々の事

言曰万人

元

二リナウ区より人世界中動物乃類と
計の事お徳教の百七類と云々

乳哺類 百七

百七類と云々

真分類 四百

百七類と云々

刺類 百七

その外は悉く飛鳥なりけり行路の程を

言九百甲の種

十

一回会より京都奥服物仕込の事

の事お徳教の預めより物買物の

孺子十五卷 代金百部拾部四十卷

龜綾 二十尺 代金百部拾部四十卷

綸子 二十尺 代金百部拾部四十卷

紗綾 二十尺 代金百部拾部四十卷

絹縮 四十尺 代金百部拾部四十卷

羽二重 百尺 代金百部拾部四十卷

古たのし調く綾金巻縮く水波縮く

丁度百部十尺 代金百部拾部四十卷

善子九部拾部 代金百部拾部四十卷

十

小島子校生債 代金百部拾部四十卷

等 代金百部拾部四十卷

級 代金百部拾部四十卷

級 代金百部拾部四十卷

此校及第せしむ生徒尚我名あり有之

二百卷

當流算一樽卷廿四

當流算樽卷廿四

春靜堂種山保壽解義

加法

虎

前ノ重サ四ノ百目ヲ置

後ノ重サ五ノ百目ヲ加

相併九ノ九百目ト計ル

答九百目

此解辞ヲ見易カラシメテ答レテ尤ノ如クス

前 四ノ百目
後 五ノ百目
相併 九ノ百目
答

以下皆此式ヲ用ユ
准レテ知ルベシ

貳

牛 六丁
馬 六丁
相併 七里半

相併 位

十五丁

答

三

大豆 十九丁
小豆 十八丁
相併 五十八丁

相併 位

五十八丁

答

四

硝 十五丁
硫 十五丁
木 十五丁
相併 五十五丁

相併 位

五十五丁

答

五

嫡 十三丁
次 十七丁
三 十一丁
末 四丁
相併 五十五丁

相併 位

五十五丁

答

六

市界 十五丁
女 十丁
郡男 九丁
女 九丁

相併 位

四十五丁

答

詩	百六十六枚
書	八十七枚
易	七十五枚
禮	三百十枚
春	六十七枚

併相位五

六百六十七枚

答

八七	八十七万六千
五	十七万五千
六	五十四万六千
カ	六十六万八千
カ	十六万

併相位五

六十五万五千

答

淡	五
橙	十
紅	十五
黄	二十
緑	二十五
青	三十

併相位六

三十五

答

宗	伏水	一
伏	小倉	半
小	彩田	半
新	長池	半
長	玉水	半
玉	木津	半
木	奈良	半

併相位七

四十

答

孟	論	孝	春	易	礼	周	尚	毛
二万四千六百八十五字	三万四千七百字	千九百。三字	十九万六千六百四十五字	一万四千四百。七字	九万九千。九十字	四万五千八百。六字	一万五千七百。七字	二万九千四百。十四字

併相位九

四十七万九千九百九十字

答

加法終

減法

多救九三九の遠キ木曾街道百二十四里半ヲ置此
少做九近東海道百貳十五里半ヲ減シ残

余九里ヲ答治トス

此解辞ヲ畧シテ

但筆算ニテハ

木 百二十四里半

残得九里

答

東

百貳十五里半

以下悉ク此式ニ
做フ

正一ハ增加
負一ハ減引

計

田畑合 三万五千六百九十七町八畝

知 一万六千四百七十九町八畝

残得 九千八百十八町八畝

答

三

合酒 三合

内減

上 三合
中 四合

二残得下

五合

答

四

里程

百二十里 内減

舟 十三里
車 三十八里

二残得

七十九里

答

五

正書

四百六十八枚

内減論

大 十七枚
中 二十六枚

二残得

四百四十四枚

答

六

待金

三万四

内減長女

末女 千六百四
式千四
亦千五百四

二残得長男

三万九百四

答

七

総計

九位七千五百

内減

式千四
亦千五百四
五万五千五百人

二残得

式千四

答

八

総計

十万二千五百人

内和比

三万八千人
三万八千人
三万八千人

二残得

四万人

答

六千二百二十七類

減内

乳	二百二十
尾	六百九十九
魚	四百四
虫	六百六
羽	千七百五

得鳥九百十六種

答

金高 五千圓

減内

魚	三百八十四
孺	百八十四
羽	千七百七十四
弱	五百五十五
羽	千七百七十四

得

縮千九百六十四

答

總人員 二百五名

減内

八級	百十八人
七級	六十五人
六級	三十三人
減内	六人
減外	三人
減外	三人
減外	三人

得

百五十五名

減法

後

當流筭梯卷廿四解義終

春齋堂
藏書記